

令和元年度第2回犬山市高齢者保健福祉事業推進委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年11月6日(水)午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所 犬山市役所 202・203 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員：12名(敬称略)
齊木昭子、井口昭久、宮田昭男、永田淑規、榊原節夫、松浦英幸、
平手みつゑ、下津秋久、古川一夫、紀藤久美子、金澤慶了、宮崎貢一
※欠席者：3名(敬称略)
河村英徳、内藤岳彦、伊藤正久
 - (2) 事務局
健康福祉部長 吉野正根、長寿社会課長 吉田高弘
地域安全課長 百武俊一、健康推進課長 三輪雅仁
長寿社会課課長補佐 中村亘、田中直美
健康推進課課長補佐 野村潤子
 - (3) コンサル業者
株式会社ワイズマンコンサルティング 藤井文彦、安村眞也
- 4 協議事項
高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の実態調査(アンケート)について
- 5 報告事項
地域包括支援センターの委託について
- 6 会議資料
次第
一般高齢者向けアンケート調査票案
居宅サービス利用者向けアンケート調査票案
在宅介護実態調査 調査票
介護保険事業(支援)計画について
犬山市地域包括支援センター運営事業者の選定について
犬山市福祉活動センター案内
コミュニティバス時刻表・路線図

6 議事内容

| | |
|---------------------|---|
| <p>事務局 吉田課長</p> | <p>只今より、令和元年度 第2回 犬山市高齢者保健福祉事業推進委員会を開催いたします。皆様には、お忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>開会に当たりまして、吉野健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。</p> |
| <p>健康福祉 部長</p> | <p style="text-align: center;">挨拶</p> |
| <p>吉田課長</p> | <p>続きまして、井口会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。</p> |
| <p>会 長</p> | <p style="text-align: center;">挨拶</p> |
| <p>吉田課長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>それではここで、役員改選等により新たに委員となりました方をご紹介させていただきます。4号委員の犬山市商工会議所代表として、これまでの坂野委員に代わりまして、伊藤(いとう) 正久(まさひさ) 様です。</p> <p>本日は、河村委員、内藤委員、伊藤委員より、欠席をする旨のご連絡をいただいておりますが、12名の委員のご出席をいただいております。犬山市高齢者保健福祉事業推進委員会規則に規定する会議開催の要件であります過半数を越す委員が出席されていますので、本日の委員会が成立することをご報告申し上げます。</p> <p>また、議事録を調査事業の委託会社である、株式会社ワイズマンコンサルティングの担当者が録らせていただきますので、ご了承ください。</p> |
| <p>吉田課長</p> | <p>それでは、報告・協議に先立ちまして、事前に配布させていただいております、お手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">資料確認</p> <p>不足等ございましたらお申し出ください</p> <p>それでは、委員会の議長は、規則第4条により井口会長にお願いいたします。</p> <p>井口会長よろしくお願いたします。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>それでは、会議録の署名者の指名をさせていただきます。</p> <p>委員名簿の8、9の委員、松浦委員と平手委員の2名とさせていただきますよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">異議なしの声</p> <p>それでは、次第に従い進めさせていただきます。</p> <p>なお、本日の会議は3時30分には終了したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。</p> <p>本日の協議事項としましては、「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>実態調査（アンケート）について」です。 まず、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p style="text-align: center;">資料1、資料2に沿って説明</p> |
| 地域安全課長 | <p style="text-align: center;">コミュニティバスについて説明</p> |
| 事務局 | <p style="text-align: center;">タクシー助成について説明</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。 委員の皆様から、何かご意見等ありますでしょうか。</p> |
| 会長 | <p>アンケート対象者を要介護認定者とそうでない方を分けたのはなぜですか。</p> |
| 事務局 | <p>国の示しているアンケートを見える化システムに登録するにあたっての対象者が、一般高齢者、総合事業対象者、要支援1、2までとなっています。そのため、資料1については対象者を同じ範囲にしました。そこで、要介護認定者と線引きをさせていただいています。</p> |
| 会長 | <p>国は要介護認定者へは調査をしないのですか</p> |
| 事務局 | <p>国の示しているアンケートとして、要支援2までを対象としたニーズ調査と、在宅介護実態調査という2つがあります。 在宅介護実態調査は、在宅で介護を受けている要支援1以上の方へ、介護の状態や、実際に介護を担っている方の調査となっています。 そのため、一般高齢者向けと同じようにご本人の状況を聞くという所で市独自のアンケート調査を行うこととしました。</p> |
| 会長 | <p>調査は3種類あるということですか。</p> |
| 事務局 | <p>そうです。 資料1、2については、2500人の方に郵送でやり取りをする調査になっています。 在宅介護実態調査については、既に5月から実施しており、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方を対象に行っています。そのため、新規の方は対象から省いています。 犬山市の調査員が、介護認定をする際に、聞き取り等で行っています。 今回計画に反映させる調査としては3つになりますが、今回、委員の皆様にご意見をいただきたいものは、資料1、2の、郵送で行う調査になっています。</p> |
| 副会長 | <p>先ほどコミュニティバスについて事務局から解説いただきました。 これから高齢者が増え、足が悪い人が増えていきます。 私も年齢の影響か、足が悪くなり、家族から車を取り上げられました。 昨日まで自分で運転していた人間が、車を取り上げられると、大変不</p> |

自由になります。また、自立していく意識が減っていくように感じます。
先ほど部長からの話にもあったように、高齢者の方が増え、認定者も増えている、当然給付費・医療費も増えていき、どこかで行きつくところが来るのではないかとこの予測をしています。

自分自身で幸福感をもって、元気で、できる限り人に世話にならないように生きていくということで、足は非常に大事です。

昔から年は目から・足からと言われていきます。

フットワークが悪くなると、体全体のフットワークも悪くなります。

頭、顔の表情、体つきにも老いが入ってきて、自立できなくなってきた、最後は介護を受けることになります。

そういった意味で、最近免許証を自主返納する人が増えてきています。しかし、返納する方はまだ元気な方が多いです。その方が返納した翌日から、それまで車で生活していたものが、車が無くなってしまうと、何らかの形で車に乗らなければなりません。

そうすると、コミュニティバスやタクシーを公の形で、皆で上手に乗るということが非常に大事になります。そういう意味では、コミュニティバスやタクシーはこれから生活していくうえで欠かすことのできない課題ではないかと考えています。

これについてはこの委員会で論議が必要なのですが、その身になってみなければ、なかなかその人の声は生きてきません。

委員の皆さんの発言がないと、コミュニティバスやタクシーも旧態依然のまま進んでしまいますので、私としては本日ご出席いただいている委員の方から発言をしていただきたいです。

本日、コミュニティバスの路線図・時刻表が配られていますが、支部長と役員との間で、コミュニティバスをできるだけ各クリニック・ホスピタルに近いところに停めていただき、もう少しわかりやすい形にしてくれということで、健康と病気に利用できるようなマップを作ってくださいと地域安全課にお話をし、とりあえずこの形になりました。

まだ改善しなければならない部分もあり、それも本日ご出席しているそれぞれの団体の責任者の方々にも見ていただき、後日でもいいので長寿社会課へ提言していただきたいと思っています。

また、医療機関の一覧も載っていますが、診療科名が一般の方では略字では分かりにくいかもしれません。次回印刷されるときに、改善していただきたいと思っています。

一番大事なことは、タクシー助成で今後求めることについての回答の中で、5番の「免許証の自主返納者を助成の対象にしてほしい」という項目です。免許証を自主返納した方に対して、タクシーのチケットを何らかの形で割引するような、自主返納した方にタクシーを大いに利用していただけるようにしていただきたいです。

私は自分で料金を支払いますが、そうはいかない方もたくさんお見えになると思いますので、こういう方に対しては、少しでも気持ちを表現

| | |
|------|---|
| | <p>するタクシーの使い方を考えていただきたいです。</p> <p>何でも一律で 85 歳以上を対象にするのではなく、時代の変遷に応じた形でタクシーの財源を上手に使っていただけたらと思います。</p> |
| 会 長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> |
| 齊木委員 | <p>タクシー券について、私は以前から 85 歳は高齢すぎると考えています。</p> <p>今、自主返納する人でも、80 歳になったら自主返納しようと考えている人も多くなっています。そのため、80 歳は厳しいかもしれませんが、1 歳でも 2 歳でも年齢を下げしてほしいです。</p> <p>近隣の市町村、扶桑町では 80 歳からタクシー券を出しています。</p> <p>近隣はもう少し低くなっていますが、犬山は 85 歳からということで、85 歳からですと、コミュニティバスもたくさんありますが、バス停まで行くのがしんどいという方がいます。</p> <p>枚数を増やすことはないと思いますが、より多くの人に利用出来る様な考え方をしてほしいと思います。1 歳でもいいから年齢を下げてくださいと、85 歳になると一気に体力が下がると思いますので。その辺も考えていただきたいと思います。</p> |
| 会 長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> |
| 榊原委員 | <p>私が一番心配しているのは、犬山市では在宅介護の手当てが倍になりました。そのため、要望は色々あると思いますが、市の見通しとして、財政的にどこまでカバーできるのかが非常に心配です。</p> <p>コミュニティバスは、私の近くでも楽しそうに乗っていかれる方も多のですが、時間がかかりすぎて少し不便だという意見もあります。</p> <p>そのため、利用者側の意見もまとめていただけるとありがたいです。</p> <p>ただバス停等を増やすだけだと、それだけ時間がかかり、目的地にかなかなかどり着かないという問題も出てきます。</p> <p>私の周りでは、土日を増やしてほしいという意見が多かったのですが、そういった利用者の意見をまとめていただけるとありがたいです。</p> <p>また、タクシー券もそうですが、申し込まないとやってくれないというあり方ですが、それをもう少し多くの住民に知らせる手段を考えていただきたいです。</p> <p>従来から 85 歳以上はタクシー券利用できるようになっていますが、それを実際には後から聞いたという人もいます。</p> <p>「知らなかった」ということが結構ありますので、それをいかに住民の皆様知っていただくのか、犬山市ではやっているという PR も増やしていただけるとありがたいと思います。</p> |
| 齊木委員 | <p>今の意見の中で、昔、タクシー券は 85 歳になると民生委員さんが手続きをしてくれていました。</p> <p>今はやっていないのでしょうか。</p> |

| | |
|--------|--|
| 事務局 | <p>昔は民生委員さんが中に入っていた形でした。</p> <p>また、一度申し込んでいただくと、翌年以降は自動的にお配りをしています。</p> |
| 齊木委員 | <p>それはいいのですが、初めて 85 歳になる人は、今言われたように知らないということは良くないのではと思います。</p> <p>広報でお知らせしていただけていると思いますが、なかなか広報を全戸の方が見ることはないようです。</p> <p>民生委員さんが手続きをする、というのはもうやっていないのですか。</p> |
| 事務局 | <p>民生委員の方々にも、年間通して訪問をしていただきますので、そういった 75 歳以上の方には福祉サービスの一覧表を配っていただいています。</p> <p>広報の方も、昔は年 1 回でしたが、今は毎月掲載しており、今月誕生日の方はタクシー券を申請できる等、周知の回数は毎月出させていただきますという形をとっています。</p> <p>やはり見なかったということもありますので、地域包括支援センターの職員にも各地域のご家庭に訪問していただいていますので、該当する方には声掛けをさせていただきます。</p> <p>民生委員の方にもお声かけしていただく等のサポートをしていただいております。</p> <p>きめ細やかな周知が、一番何がいいのかという課題はずっとついていると考えています。犬山として良い周知方法があれば、チャレンジしてやっていきたいと思っています。</p> |
| 齊木委員 | 是非お願いします。 |
| 榊原委員 | <p>私は民生委員をやっていますが、今、85 歳になったから利用券の手続き、ということはやっていません。</p> <p>民生委員としては、3 月の下旬から 4 月の中旬にかけて、75 歳以上の高齢者の実態調査をしています。その時に話を持っていきますが、実態調査もなかなかやりづらくなってきました。</p> <p>鍵をかけられて、中にいるんだけど出てこない。</p> <p>こういった社会の情勢なので、見知らぬ人が来るということもあるでしょうが、その辺りが今の調査をどうやって行ったらいいか等、例えば広報で、75 歳以上の家庭に民生委員が伺うと出していただけると少しは理解していただけます。</p> <p>そういった情勢の在り方もしっかりしていかないと、ただやってくださいというだけだと、行く方も大変です。この辺りが難しいと感じました。</p> |
| 地域安全課長 | <p>免許証の自主返納の話が出ていますが、免許証の自主返納をした方に、コミュニティバスの回数券を 1 年に 1 冊、5 年間お渡しするという制度をしております。</p> <p>昨年度、240 人の方が利用されています。今年については、正確な数字はありませんが、10 月時点で 200 人程度の方の申請が来ています。や</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>はり、今年の春ごろの事故を受けて、そのころから多くなってきています。</p> <p>自主返納されたすべての方に渡しているわけではありませんが、65歳以上の方で自主返納した方を対象に、警察署からの証明書をもっていただければ、そこから5年間回数券をお渡しするという取り組みはしております。</p> |
| 副会長 | <p>これについて、中身のある結論を出すには、今日の限られた時間の中では無理だと思いますが、まず本日この話題が出ただけでも前進だと思います。</p> <p>このアンケートを出して、その結果を踏まえて、いわゆる足の問題や、助成の対象者が85歳以上という画一的な考えではなく、時代の変化、高齢者の数が増え、また、それまで送り迎えしてきた生産年齢人口が減ってきたので送り迎えもできなくなり、高齢者の方は足が悪くてだんだんと隅っこに追いやられていく可能性もありますので、そういう時代背景を踏まえて、犬山では交通をどうしたらいいか、特化した委員会を開いたり、それについて特集して論議をする時間を作っていただければと思います。</p> |
| 会 長 | <p>アンケートについてはこれでよろしいでしょうか。</p> <p>アンケートの結果を見たところで、今後の事を考えていくような形でよろしいでしょうか。</p> |
| 下津委員 | <p>資料1については、我々の事について書けばよいのでしょうか。</p> <p>今日、この調査票が来ているのは、自分の事について書けばよいのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>事前にお配りした資料は、本日のこの委員会で検討していただくためにお送りしております。</p> |
| 下津委員 | <p>送ってきたら、答えるという形ですか。</p> |
| 事務局 | <p>はい。12月に、この中の委員の皆さんにもお送りすることがあれば、お答えいただくことになります。</p> |
| 下津委員 | <p>タクシー券について、何人かで乗った時の話ですが、1人で乗った時と同様初乗りを超えた分もチケットで何とかならないかという話もありました。</p> <p>それだけではなく、例えば3人で乗った時に、今は一人ずつが初乗り分のチケットを出していますが、そうではなく、3人が一緒に乗った時に、3人の初乗り券を出して、その足し算の料金分までは3人のチケットでできないかということも考えていただきたいです。</p> |
| 事務局 | <p>今のご意見もお伺いしています。</p> <p>複数人でチケットを使えないか、2～3人で乗った時に3枚、4枚使えれば、追加料金もいらぬのではという意見もお伺いしています。</p> <p>そうしますと、金券のような形にして皆さんに使っていただくということであれば可能かなと考えていますので、その辺も視野に入れて検討</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>させていただきます。</p> |
| 平手委員 | <p>資料1の8ページの設問43、44で、地域住民の有志によっての後、「参加者として」や「企画・運営（お世話役）として」参加してみたいと思いますかという問があります。</p> <p>その次に、「地域ボランティアの方が自宅へ訪問し生活支援をしてくれるとしたら」とありますが、ボランティアで生活支援をしてくれる住民の方の意識は、どういう所から出てきたのでしょうか。</p> <p>私は協議体で色々な意見が出ていて、ボランティアで何ができるかということが協議されていると思いますが、協議体をご存じない一般の方が、ボランティアで家事の手伝いや入浴の手伝いまでしてくれるのかということまでは、考えが及びもつかないと思いますが、この辺の所はどういったところで設問が出てきたのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>そういった活動をしている方は実際にいらっしゃいます。地域の中で支え合いの活動をしていく中で、市民同士で簡単なことでお助けできないかということが協議体でお話し合い等していただいていると思います。</p> <p>例えば、そういった場面があつてご自宅にそういった支援をしていただきたいが、ヘルパーを呼ぶまでもない、簡単な電球の取り換えや草取りをする等、軽作業を住民同士でお助けするという方がいた場合、そういったところを助けていただきたいですかという設問として入れています。</p> <p>まさしく協議体の中でのこれからの話し合いの中で、こういった要望をアンケートの中でお答えいただいているというデータとして、また皆さんにこういった情報を提供できるのではということで、この設問が入っているものだと思います。</p> |
| 平手委員 | <p>協議体をやっていますが、協議体の存在自体はなかなか市民に浸透していないと思います。地域包括支援センターの方々が中心となってやっていますが、協議体というのももう少し市民に周知する必要があるのではと考えています。</p> <p>簡単なことは元気な高齢者が高齢者をお助けするという組織があるということ、協議体の事を広報などを通じて、市民に周知させる必要があると思います。</p> <p>なかなかボランティアで、家の中に入ってということは、難しいのではと思います。</p> |
| 会 長 | <p>よくわかります。</p> <p>地域ボランティアの方が自宅へ訪問し生活支援をするというのは、実際にあるのですか。</p> |
| 榊原委員 | <p>犬山の協議体では、地域の実態を把握する等話し合う場になっており、それに対して何かをするということまでいっていません。</p> <p>小牧の方はボランティアの方が集まって、庭の剪定だと100円でやりますよということ、提供する側も何か恩恵を受ける、ただやってもらうだけではなくて、それには手当を出している、これは小牧で一部の方が</p> |

| | |
|------|--|
| | 退職された方を中心に集まってボランティア活動をやっておられます。 |
| 会 長 | <p>このアンケートを何のためにやっているのかというと、このアンケートの結果を見て政策を決めるためにやっています。</p> <p>そのアンケートの中で声が多ければ、そういう方向にこういう仕組みをつくっていきましょうというためにやっているわけです。</p> <p>そのように分かりやすく出さないと、これだともともと地域ボランティアが存在していて、そのシステムがちゃんとあって、それを市が面倒を見ていて、その上でこういうことをやったらどうですかということを知っているわけです。</p> <p>なので、これでは市民の方は何のことか分かりません。</p> |
| 事務局 | もう少し、この辺の説明を入れた形で作成します。 |
| 会 長 | そもそもその地域ボランティアが必要かどうかという設問の方がいいと思います。 |
| 榊原委員 | <p>ボランティアまで行かなくても、民生委員をやっていると、ごみ捨て、ちょっと捨ててきてくれるとありがたい等、民生委員だけでやってしまうと、あの民生委員はやってくれる、でもこの民生委員はやってくれないと、いろいろと不満が出てきます。</p> <p>私は小学生や中学生を使えばいいなと思います。</p> <p>登校の途中に置いていく、そういった輪を広げていくような形をとっていかないと、民生委員がやらなければならないといけないのかという話になってくると、また負担になってきます。</p> |
| 会 長 | 問 45 は犬山で設定したものであるので、変えることはできるので、こういうご意見も反映して変更をお願いします。 |
| 事務局 | 分かりました。 |
| 金澤会長 | <p>今の話で、犬山では人材バンクがありますが、その人材バンクと何ができるかということをもう少し掘り下げないと、ただ人材バンクをやってコンピューターに入れるだけで、使い切れていないです。今は包括支援センターにデータを与えて、そのデータを使ってもらおうという方向だとか、そういったことをしないと、アンケートをやっただけでなんの結果も出てこないというのが今までの実態ではないでしょうか。</p> <p>犬山には人材バンクがたくさんあり、各ボランティアもセクションごとに援助が分かれてしまっているの、その辺も全体の話で、子どもから高齢者までの施策を考えないと、ずっと何ともならないと思います。</p> <p>特に、人材バンクは一度使っていただきたいと思います。</p> <p>全部で 1200 あるようですが、実際に公開されているのは 300 くらいです。つまり、半分くらい死んでしまっている。調べていないということでもあるし、活かされていないということでもあると思うので、よろしくをお願いします。</p> |
| 会 長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> <p>資料 2 について、これは要介護 1～5 までの本人に聞いているのです</p> |

| | |
|------|---|
| | か。介護者に聞いているのですか。 |
| 事務局 | 本人に聞いています。 |
| 会 長 | ご本人が記入するのですか、それとも介護者が記入する場合もあるのですか。 |
| 事務局 | ご本人の状況で記入していただくことになっています。 |
| 会 長 | 例えば問 10 ですが、「認知症の症状がみられますか」というのを本人に聞くのですか。 本人ではわからないのではないのでしょうか。 |
| 吉田課長 | 頭にも書いていますが、ご本人が記入できなければ、ご本人の状態を家族に見ていただいて、ご家族にもお手伝いいただきながら書いていただきたいと思いますと考えています。 |
| 会 長 | 本人に「認知症の症状がみられますか」という問いを直接ぶつけるのは違和感があります。 |
| 副会長 | 認知症が増えており、誰でもがなりうる病気になっており、日本では今 600 万人が、まもなく 2025 年には 700 万人くらいの方が、軽度も含めて認知症になるということなので、誰でもがいずれなりうるのではというほど認知症患者が増えています。 資料 2 の 2 ページの、要介護になった主なきっかけは何ですかの 9 番の認知症について、この言葉一つでいいのでしょうか。 認知症はアルツハイマーが一番有名ですが、その他 3 種類ほどありますが、もう少し中身の濃いものにした方が良いのか、会長にお伺いしたいです。 また、13 番の眼科・耳鼻咽喉科疾患を一括しているのは横着なやり方だと思いますので、分けていただきたいです。 特に視覚障害は今、大事な認知症な原因の一つになっています。緑内障や糖尿病網膜症が、生活習慣病が増えていると同時に、そちらの疾患も重要視されています。 カッコ書きで緑内障や糖尿病網膜症など、該当する箇所があれば丸を付けてくださいという形にした方が良いと思います。 資料 1 の方においても、2 ページの視覚障害・聴覚障害は分けて書いていただきたいです。 |
| 会 長 | この調査票全体に言えますが、第一人称と第二人称が混在しているため、答える人が戸惑ってしまいます。例えば、「あなたは認知症ですか」ということを認知症の人に聞かれても、私は認知症ですという人はあまりいません。何が原因かと聞かれても難しいです。認知症は良いのですが、例えば問 4 で、「ご本人は要介護認定の結果に納得していますか」と聞いていますが、これを本人に聞いています。 誰に聞いているか分からないので、介護者に聞いているのかご本人に聞いているのか分かるようにすれば、もっとすっきりすると思います。 こういうあいまいな部分があると、答える人が嫌になってしまいます。 |
| 榊原委員 | これだと本人だけではアンケートに答えることができないと思いま |

| | |
|------|---|
| | <p>す。</p> <p>自分もやってみました、これはどうやってやったらいいのか、難しかったです。</p> |
| 会 長 | <p>アンケートで最も問題なのは信頼性です。つまり、答える人がどれだけ本気で答えられるかという問題です。</p> <p>問いそのものがいまいだと、答える人が嫌になってしまって、ちゃんと答えてくれなくなります。そうすると、アンケートをやった意味がなくなってしまいます。</p> <p>数は少なくてもいいので、本当に知りたいことを伝えられるようにしないと。あいまいなものを載せるのはまずいと思います。あいまいだと思ったら、その問いをやめてしまう。</p> <p>本人にあなたは認知症かを聞くのは無意味です。</p> |
| 会 長 | <p>他にご質問はありますか。</p> <p>もう一度スケジュールを教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>12月中にアンケートを、2500人を対象に行います。</p> |
| 会 長 | <p>2500人はどういう配分でやるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>まだ人数の配分は決めていませんが、資料1のアンケートを2200人程度、資料2のアンケートを300人程度ということで、要介護認定度で抽出して行います。</p> |
| 会 長 | <p>それは無作為抽出ですか。</p> |
| 事務局 | <p>要介護度別で人数は違いますが、選ばれる人は無作為です。</p> |
| 会 長 | <p>全体の対象は何人くらいいるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>要介護認定を受けている人は3000人程度、65歳以上は2万人程度です。</p> |
| 会 長 | <p>つまり、1割程度の人に聞くわけですね。</p> <p>そうなるとこの調査票が送られてくる人はほとんどいないので、送られてきた方はびっくりされると思います。</p> |
| 吉田課長 | <p>今までも、一般的なアンケートに関しては、回収率は3割や4割ですが、これに関してはかなり回収率が高く、前回だと、一般の方は83%程度の方、介護を受けている方は6割を超える回収率ということで、皆さん非常に積極的に答えていただいています。</p> |
| 会 長 | <p>このアンケートは、国がアンケート調査をやるように、長年やっています。</p> <p>ところが、国はこういうデータをまとめて集計したものをどこにも公表していません。各市町村が各々やっているにも関わらず、国全体としてのデータを持っていません。</p> <p>どうしてかという、今までは市町村によってばらばらだったため、まとめようがありませんでした。今年は全国一律の設問をたくさん入れているということは、かなり本気でこれを全国的なビッグデータにしようとしています。</p> <p>そのため、国の設問は隙がなく、非常に良くできています。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>これが集計されると、日本の高齢者の実態が全国的に明らかになります。これに協力するわけです。</p> <p>ただ、市独自で考えた資料2の方は、もう少し手直しが必要だと思います。</p> |
| 吉田課長 | はい。全般的に精査して、取り組んでまいります。 |
| 副会長 | <p>要介護になったきっかけについて、原因疾患は大事です。問の中身が雑駁だと思います。</p> <p>本日は健康推進課も来ていますので、原因疾患をしっかり把握するには、問の中身を検討された方がいいと思います。</p> <p>認知症の話もありましたが、難病と言ってもたくさんありますので、できるだけこれも特定するような形で尋ねた方が良くと思います。</p> <p>例えば、糖尿病でも軽度のものから重症化するものもあります。糖尿病で怖いものは、三大合併症、四大合併症という言葉が使われています。</p> <p>今はそういう領域も日進月歩で進んでいますので、十年近く前の問の内容になっていますので、グレードアップした方がいいと思います。</p> |
| 会 長 | <p>病気を尋ねる項目については、カッコ書きにして、名前を入れる欄を作ってください。</p> <p>それでは、次に進めます。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">犬山市地域包括支援センター運営事業者の選定について説明</div> |
| 会 長 | 議題は全て終わりましたが、全体を通じて何かありますでしょうか。 |
| 事務局 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">犬山市福祉活動センターについて説明</div> |
| 委 員 | 1時間の料金なのですか。 |
| 事務局 | 3時間区切りとなっていますので、3時間でこの金額となります。 |
| 副会長 | 本日は健康推進課長も来ていますので、ご挨拶いただけないでしょうか。 |
| 健康推進課長 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挨拶</div> |
| 会 長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局にお返しします。</p> |
| 吉田課長 | <p>それでは、これもちまして本日の委員会を終了いたします。</p> <p>お忙しい中、誠にありがとうございました。</p> <p>アンケートにつきましては、本日いただきましたご意見を参考に修正し、12月より実施する予定で進めてまいります。</p> <p>朝晩の気温の変化が著しくなってきました。皆様お体にご留意いただくとともに、お帰りの際は交通安全に気をつけてお帰りください。</p> |

上記に相違ないことを確認する。

委 員

委 員